

南京都病院 若手医師(含、専攻医)6ヶ月研修計画

慢性呼吸不全と抗酸菌感染症の臨床を中心に研修する。

(慢性呼吸不全は、後述する当院の呼吸ケアセンターが指導する体制をとる)

研修の重点をどちらの疾患にどれくらい置くかは応相談。

実際の研修

1. 基本的な期間は4月-9月、10月-3月の年度上半期・下半期6ヶ月だが、時期・長さについては希望によって調整可能。
2. 10-20人程度の入院患者を、指導医と一緒に受け持つ
疾患は呼吸不全・睡眠呼吸障害・呼吸管理を要する神経難病、結核・非結核性抗酸菌症などが中心。
このバランスも希望に応じて相談。
3. 各種カンファレンス(後述)出席と週一回の初診外来担当
4. 6ヶ月の間に10回程度、呼吸生理一般・呼吸管理(HOT・NPPV・HFNC・TPPV・カフアシストなど排痰手技)・呼吸リハビリテーション・緩和医療・結核・非結核性抗酸菌症などにつき指導医から講義。
5. 学問的に興味深い症例や集積したデータの学会発表、論文執筆(出来れば英文誌)
6. 当院呼吸器外科医師がフレンドリーかつ指導熱心なので、下記も希望あれば可能
 - ・ 指導医バックアップのもと、経口摂取不能や末梢点滴困難例に対するCV挿入(6ヶ月で10例程度)
 - ・ 指導医バックアップのもと、胸腔ドレナージ挿入(6ヶ月で20例程度)
 - ・ 難治性気胸・肺がんなど外科手術必要な症例への主治医参加(6ヶ月で20例程度)
 - ・ 麻酔科・呼吸器外科医師バックアップのもと、外科手術症例での気管内挿管(ダブルルーメンもあります)
7. 他にも希望に応じて種々に調整可能。

<カンファレンス等、週間予定>

月曜日午前:初診外来(指導医バックアップ、曜日は応相談)

火曜日 16時15分~17時00分:症例カンファレンス

隔週水曜日 14時00分~15時00分:神経内科病棟人工呼吸器回診

木曜日 15時00分~16時00分:包括的呼吸リハビリカンファレンス

隔週木曜日 14時00分~15時00分:NPPV回診

<担当> 慢性呼吸不全:荏原雄一・坪井知正・角 謙介
抗酸菌感染症:橘 洋正・田畑寿子

※. 呼吸ケアセンターについて

- ◇ 2022 年 6 月に設立した南京都病院呼吸ケアセンターは、
慢性呼吸不全と神経筋疾患の包括的呼吸ケアを多職種で行っています。
- ◇ 慢性呼吸不全を学びたい若手 Dr に、丁寧な指導を行います。
- ◇ 月平均 10 名程度の紹介患者があり、多くを入院で加療しています。
- ◇ 6ヶ月間では、新規の HOT 導入患者は 10 名程度・NPPV 導入と HFNC 導入は各々 5 名程度
おられます。
- ◇ 他に、呼吸リハビリテーションや NPPV 再調整目的の入院患者さんもおられます。
- ◇ 入院患者では、常時呼吸器疾患は 10 名程度 NPPV 使用、神経筋疾患は 15 名程度 NPPV あるいは
TPPV を使用しています。
- ◇ NPPV 回診を隔週で行っています。受け持ち患者以外の症例も経験できます。
- ◇ 慢性呼吸不全診療の研修を希望される場合は、指導医とこれら患者を受け持つことで相当数の症例を
経験することができます。
- ◇ 呼吸不全を知るには夜間睡眠状態を知ることが大切です。当院では PSG(睡眠ポリグラフィ)や
TOSCA(経皮的二酸化炭素分圧持続測定)にて適宜評価しています。
これら検査結果の解釈の仕方も会得できます。
- ◇ 呼吸ケアセンターでは学術的な指導も積極的に行っています。
少なくとも 1-2 回の学会発表を推奨しています。
また希望によっては、症例報告や症例集積研究など英語学術論文執筆についても指導します。

呼吸ケアセンター長：茆原雄一

スタッフ：坪井知正・角 謙介(呼吸器内科医師)

西田憲二(呼吸器疾患看護認定看護師・呼吸療法認定士)

渡邊俊介(理学療法士・呼吸療法認定士)

※. 当院での研修にご興味のある方は、担当角(すみ)までお気軽にご連絡ください。

南京都病院 呼吸器センター(内科) 臨床研究部長 角 謙介

E-mail: kensukesumi@gmail.com

メール発信用 QR コード



※. 参考 URL

南京都病院呼吸器センター(内科)

https://minamikyoto.hosp.go.jp/section/shinryoka_shinryoka_center_kokyuki.html

レジデント募集

https://minamikyoto.hosp.go.jp/dest/pdf/profession/kyujin-resident/resident_02.pdf